



●仲間と並んで竿を出せば楽しさも倍増

▼根掛かりに気を付けながら底を探る



▲カサゴ主体に25〜30尾くらい釣る人が多かった



カサゴは20〜22センチ前後がアベレージ



■25センチ級の良型も上がった



▲ポイントは本牧沖の沖堤坊周りや護岸沿いが中心



■左ノミシの常連さんが57尾を釣りダントツ

同船は貸し道具完備で仕掛けも販売しているから手ぶら釣行も可能。もちろん釣り方も船長が教えてくれるから、ビギナーの仲間を誘ってゴールデンウィークの釣りレジャーを楽しむにもピッタリだ。
(詳細は56ページ参照)



●メバルとカサゴの二荷
●夫婦仲よくメバルとカサゴをゲット！東京湾のメバル・カサゴはゴールデンウィークも期待大



◀通称「エビメバル」とも呼ばれる東京湾のメバル狙いのエサは生きたモエビ



▲カサゴ用はサバの切り身が配られる

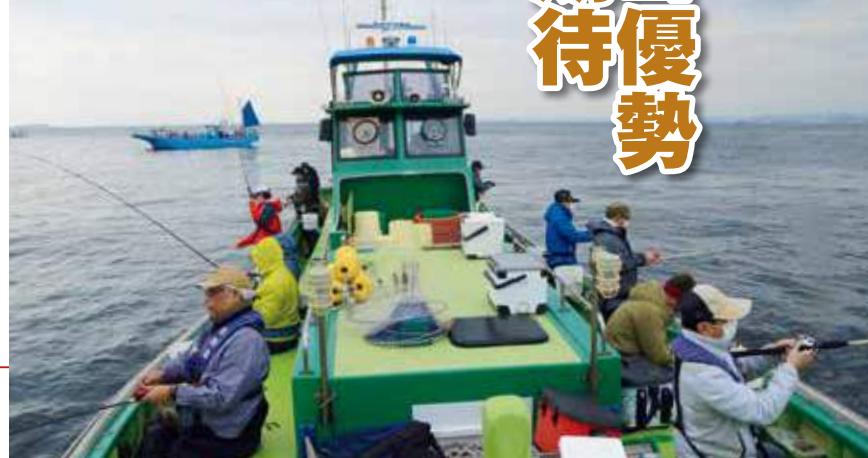


◀メバル仕掛けは胸つき3本ハリ、カサゴは2本ハリ、オモリはともに20号



●出船前に行われる船長のレクチャーは初心者だけでなくベテランもためになる

●目下の主な釣り場は本牧沖の水深15〜20メートル



東京湾奥浦安出船
メバルは今の根魚の好転にサゴ優勢期待

撮影◎竹川啓二

東京湾のメバルとカサゴは初心者や子供も気軽に楽しめる人気魚。メバル・カサゴ乗合で出船する東京湾奥浦安の吉野屋では、目下は本牧沖の水深15〜20メートル前後の護岸沿いや根周りをメインに探り、取材日はメバルは15〜21センチが船中10尾と少なかつたものの、カサゴは14〜27センチと大小交えてトップ50尾オーバー。貸し竿の初心者でも20尾ほどの好釣果で皆さんメバルとカサゴの引きを満喫した。

◎東京湾奥浦安・吉野屋 青山 隆雄船長